

# 琉球・沖縄 年中行事 Q&A

## 火之神のしつらえ方



●Answer  
 帰依 龍照(きえりゅうしょう)  
 沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q

娘に子どもが産まれたので、嫁ぎ先で火之神(ヒヌカン)をしつらえる話が出たようです。私には、結婚して子どもがいる息子もおりませんが、まだ火之神はありません。火之神は、いつ、どのようにしつらえるといいのでしょうか？ 教えてください。ちなみに、私の家には仏壇はありません。

(那覇市あら☆ぼちゃこさん)

A

火神の正式な名前は、「荒神(こうじん)」ですが、沖縄では一般的に、「御火之神加那志(ミーヒヌカンガナシー)」とか「火之神(ヒヌカン)」と呼ばれています。先日、私が地鎮祭を担当した3軒のおうちでも、火之神の案内(ウンチケー)しつらえる方法)について、同様のご質問を受けましたので、まとめてみたいと思います。

【火之神の案内はいくつ?】

時期について、沖縄では次のように、いくつかの考え方があります。

①火之神が天に帰る(昇天する)といわれる「御願解(ウグワンブトウチ)」の日から、再びこちらに戻って

くる「火之神御迎(ヒヌカンウンケー)」までの期間に行う方法。御願解は、旧暦12月24日(今年の新暦2月12日)。火之神御迎は、旧暦1月4日(新暦2月22日)です。

②仏壇・墓がある場合、旧暦7月7日、七夕(たなばた)新暦8月20日)に行う方法。

③閏月(ウンチチ)旧暦で1年間が13カ月になる年)に行う方法(ちなみに次の間は、2017年。旧暦の5月が2回あるとされています)。

④婚姻・出産・新築などの人生儀礼に合わせて行う方法。

⑤前述のタイミングで調整できないときは、旧暦一日・十五日(チータチ・ジュークニチ)以外の日に行う方法、などがあります。

【火之神の案内はどのように?】

次のような手順で執り行うといいでしょう。

①火之神の香炉は、一代一式(女性の一世代に1セット)が基本とされるので、祖母・実母・義母などから香炉をゆずり受けることがない限り、新しい火之神の神具一式(香炉と、供物の花、水、酒、塩、米の器)を購入します。

②神具一式を、海水に見たてた塩水で洗水(せんすい)します。

③新しい香炉に新しい灰を入れ、その上に、家主の実家の火之神の香炉の灰を、スプーンなどですくって3回に分けて入れます。

(灰は基本的に男性の実家からいただきますが、地域や家庭によっては女性の実家のこともあります。また、実家の灰は、新しい灰の下に入れる地域や家庭もあります。実家に香炉がないときや、事情があつて灰をいだけないときは省略します)。

④火之神の神具一式に、供物を用意します。花瓶(ハナイチー)には、青木(クロトンやチャージなど)をお供えしませよ。

⑤火之神の神具一式を台所に設置し、平御香(ヒラウコー)十五本で焼香する初御願(ハチウグワン)を行います(地域や家庭によつては、十二本での焼香や、

三本で焼香することもあります)。

\*\*\*

あら☆ぼちゃこさん、娘さんの出産などでご多忙だと思いますが、よく沖縄の文化を重んじようと思いたれました。本当に頭の下がる思いです。もし、時間に余裕があるようでしたら、火之神の案内は、沖縄の多くの方が選択される、①の期間(新暦2月12日～2月22日)に合わせるのがよいかもしれませんね。

これからも、沖縄の年中行事について、タイムリーにお答えさせていただきますので、ご質問をお待ちしています。

「昔は石3つ(ウミチムン)が火の神様だつたさあ〜」



イラスト：帰依ひろ子